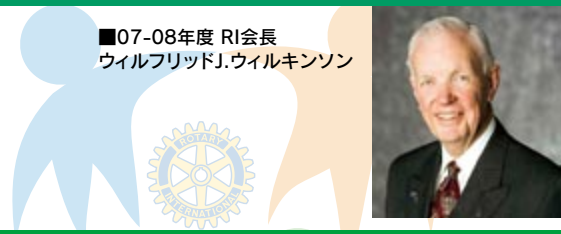




# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinain-rotary.com](mailto:info@meinain-rotary.com)



07-08年度 RI会長  
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

## 名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30  
■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号  
名古屋マリオットアソシアホテル2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054  
■会長/大隅 紀郎 ■幹事/杉山 隆秀 ■会報委員長/西村 己恵子

### 第802回

2008年1月22日(火) 晴 第26回

～ロータリー理解推進月間～ ～追悼記念週間～

斉唱 我等の生業  
出席 会員 73名 (出席率算入人数 64名)  
出席 45名 出席率 70.31%  
前々回補填率 100% (1月8日分)

#### ◆会長あいさつ◆

会長 大隅 紀郎さん

当クラブメンバーの久米伸治さんが、建築関連の軽金属の外柵工業会の理事長に就任されることが昨日の報道で発表されております。当クラブのメンバーがいろいろな業界で躍進されるということは非常にうれしいことでございます。



先週、東京のほうへ出張に行きまして、各メーカーの本社の重役がたにごあいさつ申し上げてきました。意外とメーカーサイドとしては楽観的な予測を立てられていましたので、私はそれに対して「建築業界は構造的な不況、また政策不況で先が思いやられる」ということをお話ししました。

そのあと銀座のクラブへ行ったのですが、去年は我々だけの貸切状態だったのに今年は超満員で入れないのです。ワンセットが5万円ぐらいのクラブが超満員であるということが現在の東京の物価や動きを表しているのではないかと思います。タクシートの運転手にも話を聞きましたら、何年かぶりにノルマを心配しなくていいということでした。

状況は変わってくるとは思いますが、皆さんと情報交換しまして、せめてクラブの人間だけでも落伍者が出ないようにみんなで頑張っていきたいと思っております。

#### ◆幹事報告◆

幹事 杉山 隆秀さん

1. 次週は4RC合同例会になっております。1月30日(水)、6時からですので、お間違いのないようお願いいたします。
2. 休会届け  
水野俊男さん 1/22～4/22 健康不良のため

#### ◆ニコボックス◆

\*ロータリー理解卓話楽しみです。伊藤圭一さん宜しく!  
大隅 紀郎さん 白藤 憲雄さん 柴田 照子さん  
犬飼りさ枝さん 鈴井 一博さん 平沼 里子さん

田中 省三さん 坂本 晃さん 杉本 勇さん  
菊岡深智子さん 山本 誠一さん 林 隆二さん  
長尾 浅吉さん 森田敏二さん 金原 匡彦さん  
川辺 清次さん 猪村 美之さん 鈴木 厚司さん  
山崎 淳さん 浅井 浩さん 佐々木 眞さん  
本多 利郎さん 児島 徳和さん 中西 芳子さん  
三浦 隆さん 浜田 忠盛さん 加藤 宜之さん  
\*本日、卓話をさせていただきます。伊藤 圭一さん  
\*今週末第44回新春展を吹上ホール貸切で開催します。

小澤 久隼さん  
\*例年の三越でのいけばな展です。お遊びにお出かけ下さい。  
堀田 光江さん  
\*柴田さん、写真ありがとうございました。合掌。

中村 勝さん  
\*息子の結婚が決まり、日曜日に結納を交わしました。  
鈴木 享さん  
\*本日、24回目の結婚記念日です。黒田 康正さん  
本日合計 51,000円 累計 1,295,000円

#### ◆委嘱状授与◆

小山慎介さんに地区米山奨学生選考委員委嘱状が授与されました。



#### ◆ロータリー理解卓話◆

●元会長 伊藤 圭一さん

今日はロータリー理解の卓話をするということで、私の手元にありました3冊の本を材料にお話しします。

まず『名古屋名南ロータリークラブ10年の歩み』から生野房江さんのコメントを紹介いたします。「ロータリー入会のお誘いを受けたとき『週1回の例会?とんでもない。貧乏暇なしで私ができるわけがない』と思いましたが、入会して10年がたちました。メーキャップをしながら回数を重ね、出会いの中から仕事の悩み、ゴルフの楽しみを通し、真の仲間に出会えたこと、そして自分一人では微力でも社会に貢献できる機会が得られたことなど大変よかったと思い、今後、会社が存続し、元気で会費が納められる限り続けさせていきたいと思っていますのでよろしく願います。」これは代表的な我々ロータリアンの考え方だと思うんです。そう難しく考えなくても親睦と奉仕の気持ちを持っておれば、ロータリアンとしてりっぱだと私は考えています。

#### 第804回例会(2月5日)のご案内

会員卓話 武藤 正行さん

もう2冊は『ロータリーの心』『ロータリー職業奉仕を理解するために』。この2冊からは「四つのテスト」についてお話をさせていただきます。

「四つのテスト」というのは「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるか」この四つのロータリーのテストを自分に言い聞かせてロータリアンとして生活をし、仕事をしていけば、必ずや自分が成長する、そして会社の仕事もうまくいくということです。



「真実かどうか」ということは「自分の言ってること、やることが、うそ・偽りないか、あるいはごまかしはないか」ということを自分の心に聞いてみて、そして行動するという意味ですね。

それから「みんなに公平か」ということは、公明正大で後ろめたさがないという態度がロータリアンに求められているということです。そういう生活なり仕事をしていけば、必ずやりっぱな職業人になれるという意味でございます。

「好意と友情を深めるか」ですが、「好意」というのがちょっと難しいんです。好意は英語で言うと goodwill です。これは善意ということですから、自分の行動なり言うことが、善意と友情を深めることができるかということ自分を問うて毎日を過ごせば、あなたの生活も職業もうまくいくという意味だそうです。

最後の「みんなのためになるかどうか」ということで、すけども、これは周囲の友達・家族・従業員・お得意さん・仕入先であります。そういう気持ちで仕事をしますと、必ずもうかるということです。

佐藤千壽さんの解説によりますと、「真実かどうか」ということと、3番の「好意と友情を深めるか」ということとは同じように考えたらいいと言います。つまり、うそ・偽りないか、ごまかしはないか、というような気持ちで行動をしていけば、善意と友情が深まるんだというふうに解釈する。それから「みんなに公平か」ということは、後ろめたさはないか、公明正大な生活や仕事をしていけば、必ずみんなのためになるということで、四つともテストしなくても、「真実かどうか」「みんなに公平か」ということを頭に置いておけば、素晴らしい人生が展開されるということです。

会社の利益を出すためには、もちろんそういうようなロータリアンとしての心構えを持たないといけません。わが天狗缶詰は偽装などは一切ない、非常に優秀でまじめな会社であります。おでんの缶詰の売上がちょっと落ちたらラーメンの缶詰へ、それが売れなくなったら今度はパスタの缶詰へ、ということで頑張っております。

実は去年の初めにも大きな損失がありました。うずら卵の缶詰は、中国で作ると非常に安くできるので、たいへんもうかります。けれども、だんだんまねする人が出てきて、販売のほうは価格競争になり、製造のほうは中国の工場で原料の取り合いになり、原料は上がるが販売価格は落ちるといった厳しい状態になりました。その結果、中国の缶詰工場が農家のほうにしわ寄せしてゆで卵の原料の価格を抑えたので「卵をたくさん産むいいえさを安く提供します」という飼料屋さんに飛びついたらいいですね。中国の缶詰工場がその卵を使っていたのですが、えさの中にサリノマイシンという抗生物質が入っており、これは日本の衛生基準に反します。「すぐ回収しなさい」ということになりまして回収しました。

私が7代目の会長を務めていたころ、会長あいさつが50週続けて缶詰の話になり、それがかなり有名になりました。その中から1つ「パイナップルの缶詰はも

うかる」という話をしましょう。

当時、パイナップルの缶詰は沖縄で作っていました。国としては、沖縄のパインの農家と加工工場を守らなければならないので輸入制限をするわけです。輸入のパイナップルの缶詰は、資格のある商社だけに割り当てられ、90万箱以上は絶対に輸入させないというのが十何年前の現状でした。需要に対する枠がものすごく少ないので、商社はその枠を持っているものすごくもうかるわけですね。そこで私はタイから冷凍のパインを輸入しました。冷凍のパイナップルは関税も安いし、缶詰ではないので輸入制限もありません。輸入した冷凍のパインをうちで缶詰にして全国へ発売したのですが、ものすごくもうかりました。

ところが農林水産省から「伊藤さん、冷凍のパインはやめてくれんか」と言われたのです。沖縄のパインを売ってくれたら、タイやフィリピンから輸入するパインの関税はゼロにします、枠はこれだけあげますから冷凍パインはやめてくれないかと。冷凍もののパイナップルの缶詰はあまりおいしくないんです。おいしい、完熟したパイナップルを冷凍で持ってきて日本で缶詰にするとただらだらになってしまいます。だから、未熟で筋の多いパインを輸入していたのです。無税のパインの枠がもらえるなら冷凍パインはやめましょうということになり、現在も続けております。

会長あいさつの中から損をした話もしましょう。一番損した缶詰はアワビの缶詰です。これはある商社がアイスランドであわびの養殖をする、それをものすごく大量にできるから1枚のらないかということです。アイスランドは日本と同じ火山国ですので地震があり、温泉がたっぷりあります。その温水を使ってアワビを養殖すると、普通3年かかるものが1年でできます。そうすると安いアワビがたくさんできるから、それを缶詰にしたら「もうかりませ」というので喜んで出資をしました。しかし翌年になっても、その翌年になっても音沙汰がない。中に立っている商社に「どうなった」と聞くと、実はアワビの養殖場は地震でみんな流されちゃったというんです。こういう失敗はたくさんありますが、あまり失敗の話をするとうざい話がつぶれないと言われるので、この辺でやめさせていただきます。

職業奉仕ということはロータリアンの一番大切な奉仕でございますけれども、商売をまじめに真心をもってやっていけば、社会のためにもなることとお話申し上げまして、卓話を終了させていただきたいと思っております。